



思い出を胸に巣立つ

幼稚園・保育所で卒園式・修了式



町立幼稚園と平泉保育所の卒園式・修了式が3月15日に、長島保育所の修了式が3月23日に行われました。

園児たち一人ひとりに卒園証書、修了証書が手渡されると「ありがとうございます」と元気に答え証書を受け取っていました。

お別れの言葉の呼びかけでは、全員が壇上に上がり、元気いっばいに呼び掛けを行う子や、涙を浮かべながらも一生懸命に呼び掛けを行う子など、幼稚園・保育所生活での思い出を振り返りながら園舎を巣立ちました。



お別れの言葉や歌を披露する園児たち（写真上・長島保育所、写真下・町立幼稚園と平泉保育所）

ILC誘致機運醸成へ

国際リニアコライダー講演会

国際リニアコライダー（ILC）講演会が3月19日、役場会議室で開かれました。

講演会では、東北大学院助教の石川明正さんが「ヒッグス粒子と国際リニアコライダー」と題して講演。物質に質量を与えるヒッグス粒子や、ILC計画の目的と仕組み、計画をめぐる国内外の動きや誘致に伴う波及効果などについて解説しました。

ILC計画をめぐるのは、国内で北上山地と九州の背振山地が候補地に挙がっており、今年の夏に国内に候補地が一本化されます。



国際リニアコライダーへの理解を深めた講演会



コミュニティビジネスについて講演する柳井さん

コミュニティビジネスを考える

協働のまちづくり講演会

協働のまちづくり講演会が3月4日、平泉商工会館で開かれました。

東北学院大学教授の柳井雅也さんが「地域の力と合わせ技」と題して講演。柳井さんは協働のまちづくりに欠かせないコミュニティビジネスについて「地域の課題をみんなの力で解決していくひとつの方法」と話し、他地域での事例を紹介しながら協働のまちづくりへの理解と可能性を解説しました。

新しい御本尊を迎える

中尊寺本堂の新本尊開眼法要



厳粛に営まれた新本尊の開眼法要

中尊寺本堂の新本尊「丈六釈迦如来坐像」の開眼法要が3月24日、僧侶や檀信徒など約300人が列席して営まれました。

法要、感謝状贈呈に続き、謝辞を述べた山田俊和貫首は「ご本尊様の教えがあまねく世の中に及び、全ての人が幸せになり世の中が平穏であるよう一生懸命精進していく」と誓いを新たにしていました。

新本尊は高さ約2.7m、ヒノキの寄木作りに浄法寺産の漆を塗り重ね、その上から金箔を張って仕上げられています。平成21年から京都で造立が進められ、昨年11月に本尊の組み上げが完了、12月に仮開眼法要が営まれ、この日を迎えました。

新入学児童の交通安全に

交通安全母の会が黄色い帽子を贈呈

町交通安全母の会連合会（千葉千代子会長）は3月25日、交通安全活動の一環として、新入学児童用の黄色い帽子とランドセルカバーなどを町教育委員会に贈りました。

この日は千葉会長らが岩淵教育長のもとを訪れ「子どもたちを交通事故から守るため、役立ててください」と、平泉小学校53人分と長島小学校11人分の帽子とランドセルカバーを手渡しました。帽子とカバーは、平泉・長島両小学校の新1年生に配られ、児童の交通安全に役立てられます。



黄色い帽子などを手渡す千葉会長（写真中央）と小野寺副会長（写真左）



世界遺産の保護と地域の発展について講演する毛利さん

未来への伝承を大切に

世界遺産講演会

第13回世界遺産講演会と24年度町内遺跡発掘調査報告会が3月3日、ホテル武蔵坊で開催されました。

講演会では、元NHK解説委員でフリージャーナリストの毛利和雄さんが「世界遺産と暮らす」と題して講演。毛利さんは「世界遺産のまちに住む人たちが誇りを持ち、未来へ伝えていく気持ちを持つことが大切」と世界遺産の保護と地域発展に欠かせないポイントを話していました。

また講演後には、町内の遺跡調査報告も行われ、文化財への理解と意識の高揚が図られました。